

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	水口スポーツセンター 放課後等デイサービス にじいるクラブ		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 20日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年 12月 20日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プール施設があることで夏の長期はプール遊びができる	夏休みならではのプール活動は子ども達の楽しみの1つです。にじいるでは、長期休みにプール活動を全利用者がプール活動が出来るように計画に運動療育を行い全身運動はもちろん、子ども同士の関わりを意図的に行いコミュニケーションをとっている	プール活動ではスケジュールの提示を行い時間の感覚をより養いたい。またその時の約束事なども同時に指導している。子ども同士でのチーム対抗や指導員子どもチームでの種目を作りより子ども達がコミュニケーションを図れるように仕掛けている
2	活動内容(プログラム)の充実	季節に合った活動内容、長期休みのクッキング、乗馬、スポーツの森での活動。また子ども達と相談しての外活動、帰りの会での前に出でのクイズ、などなどを行っている。	・作る楽しさ、食べる楽しみだけでなく、作る過程を子ども達同士の関わりの中で主体性を発揮できるようにしていく。より子ども達が意思決定しやすいよう役割り分担等の内容を考え言葉、意見の発信が出来るサポートをしている。
3	子ども達が安心感を持って、楽しんで療育時間を楽しみ通所のできる環境づくり	子ども達全員の特性を職員は理解し、すべての子どもの支援に関わるようにしています。子どもたちにとっては話しを聞いてくれ、相談できる職員がいることで日々の活動に参加でき一緒に考え、答えを出せるよう寄り添っています。その分、楽しく時間を過ごすことができます。	支援に関わる職員が活動について子ども達が自己選択、自己決定のできる環境を作ることで、子ども達が安心感、楽しみを感じれる場所づくりに取り組んでいます。また、自分の得意な事を皆の前で発表する場を設ける事で自信がついている

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	●非常時の対応 火災時、感染対策、虐待防止、BCPの保護者周知	マニュアル作成はしている、職員の研修は行っているが保護者へのマニュアル周知は不十分ではないかと感じる	改めてマニュアルの説明を保護者に行い理解をして頂く。特ににじいる通信で取り組み発信をしたいと考える。避難訓練、研修での実地訓練も行っていることを発信する。
2	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもと活動する機会の頻度	子ども達の特性によっては参加しにくい場合もある。地域の子どもの活動や交流は、単に交流するだけでなく子ども達の活動や負担を感じないよう、交流の目的をしっかりと見据えることが重要と考えています。子ども達の特性に十分に配慮した交流の提供が必要と考えています。	にじいるだけの空間でなく、地域の子どもの交流は同世代の交流の場として大切だと考えています。地域の子どもの交流や地域住民の方との交流の場として参加できる場所、または企業でのイベント参加を行い交流できる場の提供を考えたいと思います。二号店のそらとの交流を活動に取り入れている。
3			